

1 鳥取市のすがた

(1) 背景

日本一の鳥取大砂丘を有する「鳥取市」は、中国山地から日本海へ北流する千代川流域にひらけた鳥取平野に、古く城下町として生まれ、江戸時代は、鳥取藩池田家32万石の城下町として栄えた。明治22年10月1日市制を施行し、以来県都として、また、山陰地方東部の中核都市として、政治、経済、文化の中心となり発展をしてきた。

大正時代の千代川の度重なる氾濫、昭和18年の鳥取大地震、昭和27年の鳥取大火など幾度となく大災害に見舞われたが、その都度粘り強い市民の精神力と努力により立ち直ってきた。

その後、都市の近代化に積極的に取り組み、昭和53年に鳥取駅高架事業が、昭和55年には鳥取駅前土地区画整理事業が完成し、鳥取駅周辺の整備を行ったほか、平成11年3月には、産・学と調和のとれた住環境である鳥取新都市（つのいニュータウン）開発整備事業が完了した。

交通網の整備については、昭和42年の鳥取空港完成、平成6年12月の智頭線開通により首都圏や近畿圏とのアクセスが短縮されたほか、高速自動車道である鳥取自動車道（県内区間）が平成22年3月に開通し、鳥取市は待望の高速道路時代を迎えた。これにより、広域的な地域間の連携交流の活性化と雇用の拡大に取り組んでいる。また、平成22年10月に山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定されたことや、同年11月に山陰初のJリーグチームとしてガイナレ鳥取が、J2に昇格したことなどを背景に、本市の知名度が高まるさまざまな取り組みを進めている。

産業の振興については、地域産業の振興や企業誘致に積極的に取り組んでおり、電気機械工業を中心とした製造業が盛んであるほか、二十世紀梨や松葉ガニ、砂丘らっきょうなどの特産品を産する農林業の振興にも積極的に取り組んでいる。

さらに、高齢化社会への対応として社会福祉施設等の整備・充実を図り、文化施設として、世界のおもちゃなどを展示した「わらべ館」および鳥取市歴史博物館「やまびこ館」を整備したほか、教育面においては、平成13年4月環境をテーマとした鳥取環境大学が公設民営方式により開学した。

平成16年11月1日には鳥取県東部の6町2村との市町村合併により、山陰地方で初めて20万人都市へ、さらに平成17年10月1日には、特例市となった。

平成23年3月に第9次鳥取市総合計画を策定し、まちづくりの目標である「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」の実現に向け、山陰の発展をリードする中核都市としてさらなる発展を目指している。

時代	西暦	年号	主 な で き ご と
明治	1889	明治22	鳥取市政施行
	1896	29	鳥取40連隊設置
	1907	40	仁風閣建築（皇太子を迎える）
	1910	43	口佐治村、中佐治村、上佐治村が合併し、佐治村誕生
	1912	45	山陰鉄道 京都～出雲間（現在の山陰本線）全通
大正	1912	大正元	千代川氾濫による大洪水
	1915	4	上水道給水開始
	1918	7	千代川氾濫による大洪水
	1921	10	鳥取高等農業学校（現在の鳥取大学）開校
	1923	12	千代川氾濫による大洪水
1925	14	駅前に温泉湧出	
昭和	1928	昭和3	服部村、塩見村が合併し、福部村誕生
	1930	5	千代川の大改修完成
	1943	18	鳥取大地震（M.7.3 死者1,025人）
	1949	24	鳥取大学発足
	1952	27	鳥取大火災（焼失面積1.6km ² ）
	1953	28	15村合併により鳥取市の行政基盤固まる（人口63千人から99千人へ）
	〃	〃	青谷町、日置谷村、中郷村、勝部村が町村合併し、青谷町誕生
	1955	30	鳥取砂丘天然記念物に指定
	〃	〃	河原町、散岐村、西郷村、国英村、八上村が町村合併し、河原町誕生
	〃	〃	宝木村、酒津村、瑞穂村、逢坂村、浜村町が町村合併し、気高町誕生
	〃	〃	用瀬町、社村、大村が合併し、用瀬町誕生
	〃	〃	鹿野町、勝谷村、小鷲河村が合併し、鹿野町誕生
	1957	32	大成村、宇倍野村が合併し、国府町誕生
	1958	33	鳥取砂丘国立公園に指定
	1964	39	市庁舎完成、釧路市と姉妹都市提携
	1967	42	鳥取空港完成
	1972	47	姫路市と姉妹都市提携
	1978	53	鳥取駅高架化完成
	1983	58	ついのニュータウン事業実施基本計画の認可（9月8日）
1985	60	鳥取南バイパス、駅南広場完成、ジェット機就航、第40回国体（わかとり）開催	
1986	61	鳥取港一部供用開始	
1988	63	人口14万人突破（7月23日）	
〃	〃	「流しびなの館」竣工	
平成	1989	平成元	市制施行100年、'89鳥取・世界おもちゃ博覧会開催、市第2庁舎開庁
	1990	2	韓国・清州市と姉妹都市提携（8月30日）、鳥取港全面供用開始
	1991	3	鳥取砂丘の草原化対策に着手（除草実験・松の抜去）
	1992	4	老人保健施設「やすらぎ」、「新産業創造センター」竣工
	1993	5	あおや郷土館オープン
	1994	6	さじアストロパーク天文台オープン
	〃	〃	お城山展望台「河原城」オープン
	〃	〃	因幡万葉歴史館オープン
	1995	7	市立病院の新築移転、わらべ館の開館（7月7日）
	〃	〃	岩国市姉妹都市提携（10月13日）
	1997	9	「学習交流センター鳥取」竣工
	〃	〃	「東部広域リファーレンいなば」、「鳥取県東部環境クリーンセンター」竣工
	1998	10	第22回全国育樹祭、とっとり出合いの森で開催
	〃	〃	水道局庁舎新築移転
	1999	11	鳥取新都市（ついのニュータウン）開発整備事業完了
	2000	12	鳥取市歴史博物館「やまびこ館」の開館（7月1日）
	〃	〃	農村型CATV（いなばびよんびよんネット）開局（7月1日）
	〃	〃	人口15万人突破（10月1日）国勢調査
	2001	13	鳥取環境大学開学（4月1日）
	〃	〃	障害者福祉センター「さわやか会館」開館（5月23日）
	〃	〃	青谷上寺地遺跡展示館オープン
	〃	〃	ドイツ・ハーナウ市と姉妹都市提携（11月20日）
	2002	14	ワールドカップサッカー・エクアドル代表チームがキャンプ
	〃	〃	国民文化祭・とっとり2002開催（10月11日）
	〃	〃	男女共同参画センター「輝（き）なんせ鳥取」オープン（10月6日）
	2003	15	個人情報保護制度スタート（4月1日）
	〃	〃	市民活動推進センター「アクティブとっとり」オープン（7月13日）
	2004	16	国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町及び青谷町を編入合併（11月1日）
	〃	〃	市駅南庁舎開庁
	2005	17	駅南庁舎に市中央図書館が移転開館
〃	〃	特例市に移行	
〃	〃	郡山市姉妹都市提携（11月25日）	
2006	18	白兔と河原の2ヶ所の「道の駅」同時オープン	
〃	〃	鳥取市の木「サザンカ」・花「らっきょうの花」・市民歌を制定（11月1日）	
2007	19	鳥取市の鳥「オオルリ」を制定（10月1日）	
2008	20	山陰海岸が「日本ジオパーク」に認定	
2009	21	「2009鳥取・因幡の祭典」のオープニングイベント「世界砂像フェスティバル」を開催	
〃	〃	市制施行120周年・合併5周年を記念し、新しい市民憲章を制定（10月1日）	
2010	22	鳥取自動車道（県内区間）全線開通	
〃	〃	山陰海岸が「世界ジオパーク」に認定	
〃	〃	江山浄水場完成、全面供用開始	